

はじめに

河合塾での講義の合間に、生徒諸君から実に様々な質問を受けるのですが、例年必ず聞かれるのが、「関関同立大の対策として、どんな学習をすれば良いのか?」「関関同立大を受験するのだが、良い問題集はないか?」などというものです。これらの質問のなかで答えにくいのが、「どんな問題集が良いのか?」というものです。

理由を一言で言ってしまうと、「これだ」と責任をもって推薦できる問題集がないからです。とくに、一部の難問・奇問を出題する大学を除いた、関関同立大をはじめ全国の私大入試に対応できる良問集は意外に見つからないものです。どの教科でも言えることなのですが、一度理解した内容を確実に定着させるには、それに関連する演習問題をできるだけ多く解くことが必要です。しかし、ただ多くの問題を解けばいいか、問題をやりっぱなしでいいかという、やはり、それでは効果はありません。「何故間違ったか」を意識し、しっかり弱点を整理することで、問題演習ははじめて本当に自分の知識となり、やがて歴史への大きな流れ=理解力が形成されるのです。この問題集は、諸君が解いた問題の詳細な解説から新たな知識の可能性を広げていってくれることを願って作られたものなのです。

この問題集は、関関同立大の重要問題研究とそれを踏まえて今回作成したオリジナル予想問題の二部から構成されています。すべてに関関同立大の合格レベルを意識して作成していますので、ぜひ最後までがんばってこの問題集を利用し、諸君の望みをかなえてください。

最後に、この問題集を出版してから早くも20年の歳月を数えようとしています。今回五訂版を出版するに当たって、20年前にこの問題集のために似顔絵の作成を快く引き受けてくれた元塾生のG君・Yさんに、改めて感謝します。

著者しるす

本書の内容と利用法

第 I 部 重要問題研究

◇構成

第 I 部は、関関同立大の過去15年間に出题された世界史問題から出题傾向と重要度を考慮し、古代から現代までの重要テーマを55項目に分けて載せてあります。各項目は、問題ページと解説ページからなり、原則として2ページ、4ページ、6ページの見開き単位で完結するように構成されていますので、どのページから手をつけてもかまいません。

◇問題

原則として関関同立大の入試問題をそのまま載せてあります。ただし、内容の明らかな間違いや誤植については訂正し、また表記については統一をはかるようにしました。

どの項目にもその問題の難易度を示す★印が付してあります。★はやさしい問題、★★は標準的問題、★★★は難しい問題であることを示しています。この難易度は、関関同立大の世界史の中での相対的な難易度です。言うまでもありませんが、やさしいから重要でないということにはなりません。むしろ、やさしい問題こそ絶対にできなければならない問題だということです。

◇解説

本書の中心となる部分です。問題の各設問ごとに、解答する上で理解しておかなければならない事項や正解を得るための考え方を簡潔に述べてあります。また、必ず知っておいてほしい重要事項は太字にしています。いわば、関関同立大世界史のエッセンスがここにあるわけです。問題を解いてみて、間違えたときはもちろん、一応正解だった場合でも、解説を熟読して諸君の理解を確実なものにしてください。

なお、紙幅の都合上、とくに説明の必要のない設問（たとえば年号）では一部解説を省略したものもあります。

◇補足解説

解説ページの右側には「補足解説」の欄があります。ここにとりあげた事項は、問題には直接かかわらないけれども重要な事項、あるいは解説では十分に触れられなかった事項です。さらに「ちょっと差のつく事項」にもできるだけ触れるようにしてあります。

◇表・図

解説ページに、その項目で頻出する重要事項や歴史の流れを、一覧表や図にしてまとめたものを付しました。おさえるべきポイントはこれで一目瞭然ですから、試験直前での整理・確認に役立ててください。

また必要に応じて地図を載せてあります。地理的イメージは世界史の理解を大いに助けてくれますから、地図問題対策のためだけでなく、注意を払ってください。

◇利用上のアドバイス

- ①問題演習というと、問題文の空所や下線部しか読まない諸君が多いのですが、これは非常にもったいない話です。教科書が数ページを費やしている記述を、入試問題は数十行で凝縮してくれているのですから、正誤問題や整序問題を除けば、問題文そのものが、ある単元やテーマに関する絶好の要約文たりえるわけです。問題文をじっくり「読む」ことが実は効率的な学習となります。
- ②問題を解いて解答を確認した後、「どうしてこれが正解なんだろう」あるいは「この答えは何のことかわからない」という疑問が生じるでしょう。その場合に、他の参考書や世界史辞典をひっくりかえす手間は要りません。諸君が必要とする情報は、すべて解説ページに載せてあります。本書は電車の中でも使える問題集です。
- ③あたりまえのことですが、知識の定着には反復が必要です。忘れたらまた繰り返して本書のページをめくってください。関関同立大が確実に諸君に近づいて来るはずですよ。

第Ⅱ部 予想問題

◇構成

第Ⅱ部は、すべてオリジナルの関関同立大別の予想問題を、それぞれの大学別に本番入試の2回分として載せてあります。また、別冊にはその問題の詳細な解説が載せてあります。

◇ポイント

関関同立大世界史は、一部に細かな内容が出題されることもありますが、ほとんどの問題が教科書レベルを踏まえたオーソドックスな問題が中心です。それだけに、合格者の平均点が高く、合格レベルには高得点が必要です。今回の予想問題に関しても、関学大は70%以上、関西大は75%以上、同志社大は75%以上、立命館大は65%以上の得点をなんとか取ってほしいものです。今回の予想問題で、それだけの得点ができれば本番入試で十分勝負になります。頑張ってください。

目 次

はじめに

本書の利用法

出題傾向分析 ————— 9

第 I 部 重要問題研究

I. 古代・中世の世界 ————— 16

- 1 古代オリエント世界……16
- 2 地中海世界(1) —ギリシア世界— ……22
- 3 地中海世界(2) —ローマ世界— ……26
- 4 インド文明……32
- 5 東南アジア世界……36
- 6 東アジア世界(1) —秦漢帝国— ……40
- 7 東アジア世界(2) —魏晉南北朝— ……46
- 8 東アジア世界(3) —隋唐帝国— ……48
- 9 東アジア世界(4) —宋・モンゴル帝国— ……52
- 10 内陸アジア世界の変遷 —トルコ民族史— ……58
- 11 イスラーム世界の成立・発展……64
- 12 西ヨーロッパ世界の成立……68
- 13 ビザンツ帝国と東ヨーロッパ……72
- 14 教皇権の衰退と王権の強化……76

II. 近世の世界 ————— 80

- 15 明清帝国……80
- 16 ティムール帝国とオスマン帝国……84
- 17 サファヴィー朝とムガル帝国……90
- 18 ヨーロッパ世界の拡大……94
- 19 宗教改革……98
- 20 16～18世紀ヨーロッパ①……102
- 21 16～18世紀ヨーロッパ②……106
- 22 16～18世紀ヨーロッパ③……112

III. 近代の世界 ————— 114

- 23 アメリカ独立革命, ラテンアメリカの独立……114
- 24 フランス革命とナポレオン……118
- 25 産業革命……124
- 26 19世紀のヨーロッパ……126
- 27 19世紀のアメリカ合衆国……130

- 28 東方問題……134
- 29 西アジア・南アジアの変動……136
- 30 東アジアの激動……142
- 31 帝国主義各国の情勢……146
- 32 中国の半植民地化と革命運動……150

IV. 現代の世界 154

- 33 第一次世界大戦前の国際関係……154
- 34 第一次世界大戦とヴェルサイユ体制……158
- 35 ロシア革命……162
- 36 アジア・アフリカの民族運動(1)……164
- 37 アジア・アフリカの民族運動(2)……168
- 38 アジア・アフリカの民族運動(3)……172
- 39 世界恐慌とその影響……176
- 40 冷戦期の国際政治……180
- 41 9.11事件と「テロとの戦争」……184
- 42 現代の国際経済体制と地域統合……186
- 43 中華人民共和国の歴史……190
- 44 インドとパキスタン……194
- 45 ベトナム現代史……198

V. テーマ史研究 202

- 46 ヨーロッパの文化(1)……202
- 47 ヨーロッパの文化(2)……206
- 48 ヨーロッパの文化(3)……210
- 49 ヨーロッパの文化(4)……214
- 50 イスラームの文化……218
- 51 中国の文化……220
- 52 20世紀の文化……224
- 53 東西交渉史……228
- 54 朝鮮史……232
- 55 台湾史……238

第Ⅱ部 予想問題

- | | |
|----------|----------|
| 関西学院大学 | 同志社大学 |
| 第1回……244 | 第1回……280 |
| 第2回……255 | 第2回……289 |
| 関西大学 | 立命館大学 |
| 第1回……266 | 第1回……298 |
| 第2回……273 | 第2回……305 |